



*Driving Mobile Media Innovation*

# ALPINE REPORT

第49期第2四半期(中間)決算報告書

2014年(平成26年)4月1日~9月30日

## ***Driving Mobile Media Innovation***

モバイルメディアの未来価値へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第49期第2四半期決算報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当上半期におきましては、日本を含む世界各地で発生した自然災害や、新興国経済の成長鈍化、更には地政学的リスクなど事業環境における不安要素もございましたが、欧州経済は債務危機に伴う景気低迷から持ち直しの兆しを見せ始め、米国経済においては着実な回復基調を示しました。また、為替においても夏以降には急激な変化もございましたが円安基調にあるなど、当社の事業環境は昨年度に引き続き順調に推移いたしました。

このような市場環境の変化のなか、国内市販ビジネ



スにおきましては、主力商品である「ビッグX」車種専用・パーフェクトフィットのプレミアムバージョンなど新商品を6月に投入いたしました。当製品は日刊自動車新聞の用品大賞グランプリ、及び権威ある顧客満足度調査において国内市販ナビゲーション部門で3年連続No.1を獲得するなど、市販製品としては世界最大級の10インチ大画面のみならず装着時の高級感、更には車載機器としてのシステム機能面などが市場から高く評価されました。また販売面でも消費税増税に伴う新車販売低迷の影響を受けることなく、好調に推移いたしました。海外市販ビジネスは、新たな付加価値戦略を基にしたビジネスモデルの展開を始めるなど販売強化に努めました。

一方、自動車メーカー様向けビジネスにおいては、米国での後方確認システム標準装着の法制化に伴い、液



晶パネル付き車載機器の販売が好調に推移いたしました。また、新車販売の主要市場である北米、及び中国において、当社顧客の新車販売が引き続き堅調であったことから当社売上も増加いたしました。

以上の結果、売上、利益ともに期初計画を上回りました。

尚、中間配当につきましては一株につき、10円とさせて頂きました。

下期におきましては、国内の景気動向を始め世界経済の減速懸念がございますが、当社といたしましては今後ともお客様のカーライフを豊かにするイノベーションカンパニーを目指し、魅力ある製品の創出に注力するとともに、アルパインブランドをより一層高め、業績改善を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月

代表取締役社長

宇佐美 徹

## アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

### 1. 「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

### 2. 「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

### 3. 「社会への貢献」

アルパインは品位ある製品の提供を通じ、明日の豊かな社会作りに貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication  
Cloud Service



Drive Assist  
Cockpit Display

## 事業報告

## 音響機器事業

当事業部門では、日・米・欧の市販市場で、高精細・高画質ディスプレイやスマートフォン用アプリケーションに対応した高付加価値機能搭載CDプレーヤーに加え、Bluetooth機能搭載のエントリーモデルの販売強化を図りましたが、売上は厳しい状況で推移しました。

自動車メーカー向け純正品は、北米及び中国市場における新車販売が好調であったことや、米国自動車向けにアンプやスピーカーなど、高音質を追求したサウンドシステムの売上が増加したものの、微増にとどまりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は331億円(前年同期比4.8%減)となりました。

## 情報・通信機器事業

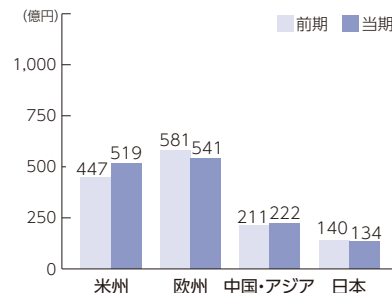
当事業部門では、欧米市販市場に新製品の車種専用大画面ナビゲーションを投入、拡販に努めました。

国内市販市場では、広範囲の地図画面表示や、迫力ある映像を表現する世界最大級の10インチ大画面ナビゲーションを投入しました。消費増税後の反動減が懸念されましたが、車種専用設計した当製品は、装着時の高級感やシステム機能面をお客様から高く評価頂き、売り上げも増加しました。

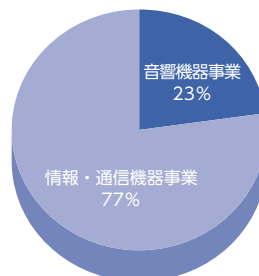
自動車メーカー向け純正品は北米及び中国市場において当社顧客の新車販売が好調に推移し、それに伴ってディスプレイ複合製品の売上が増加したものの、一部製品の端境期による影響を受けたため、売上は微増に留まりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は1,085億円(前年同期比5.2%増)となりました。

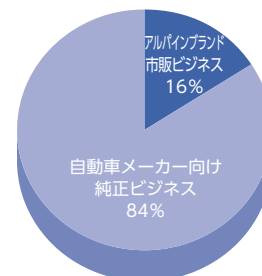
地域別売上状況



事業部門別売上比率



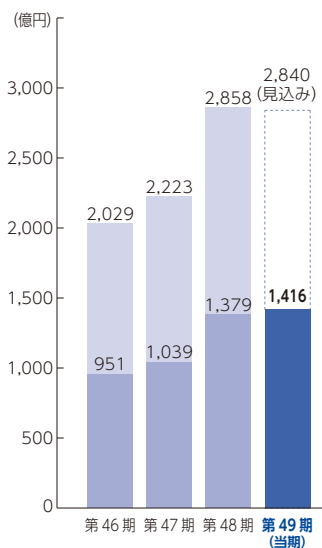
仕向け先別売上比率



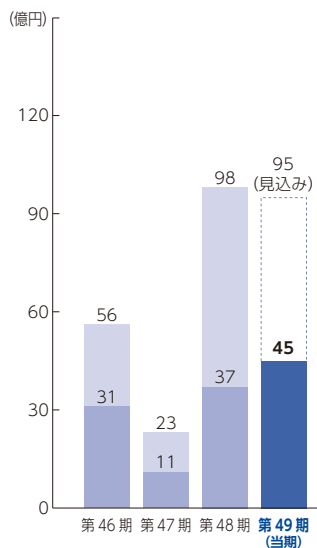


主要経営指標の推移

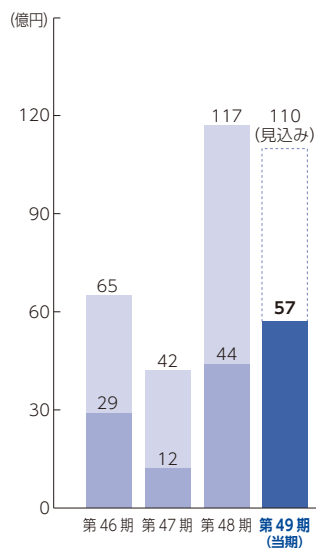
売上高



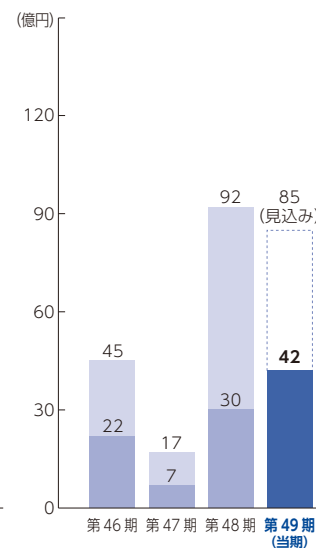
営業利益



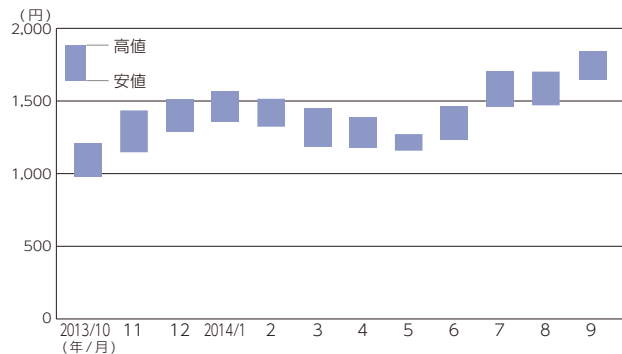
経常利益



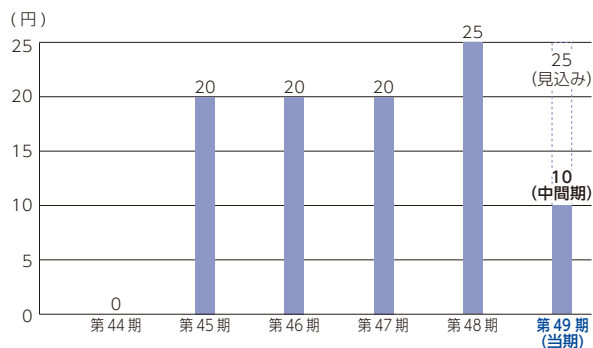
当期純利益



株価時系列データ



配当金推移



## 日刊自動車新聞 用品大賞 グランプリ受賞



ビッグXプレミアム10インチのVOXYモデル

### 受賞にあたり評価された点

- 大画面…7インチ画面の2.3倍となる10インチの大画面モニターを採用し、視認性が向上した点
- 装着性…車種専用開発することで市販製品でありながらも美しく、高級感ある装着を実現した点
- 情報量…搭載している情報量の多様性と豊富さ

日刊自動車新聞が主催する「用品大賞2014」において、当社の「ビッグXプレミアム」がグランプリを受賞しました。

この賞は、2013年7月から2014年6月の期間に注目を集めたカー用品の中から最も優れた商品に対して贈られる大変名誉ある賞です。カー用品量販店へのヒアリングやアンケート調査も反映し、「商品の技術開発力」「企画力」「アイディア」「ユニークさ」「パイオニア精神」の点から日刊自動車新聞が選考します。

今回受賞した「ビッグXプレミアム」は、従来から取り組んでいる市販製品でありながら車種専用設計を更に進化させ、世界最大級の10インチ、及び9インチ画面を採用しました。当製品は、30車種以

上に対応し、車種ごとの音響設定、装着時のデザイン性、その他システムとの最適化を図るなど、ものづくりへのこだわりを具現化したことが高く評価されました。

更に「ビッグXプレミアム」は、ご購入頂いたお客様に評価頂く、権威ある顧客満足度調査においてもナンバーワンを獲得し、今回の受賞と合わせて「ビッグX」シリーズは3年連続ナンバーワンを受賞することができました。

これらの受賞を励みとして、今後ともお客様のカーライフを豊かにする商品開発を行ってまいります。



## 車種専用ナビ 海外展開開始

車種専用というビジネスモデルの展開を欧米市販市場でも始めました。

アメリカでは、25年ぶりとなるディーラー向け新製品発表会を大規模に行い、新たに始まる車種専用というビジネスについて、参加したディーラーと様々な角度から意見交換を行いました。ヨーロッパにおいては、メルセデスベンツ向けの車種専用ナビを発表し、欧州の権威ある賞の年間最優秀賞を受賞しました。車自体のシステムと融合した機能、車室内インテリアとマッチした高級感あるデザイン、純正よりも大きなディスプレイ等が高く評価された結果です。

海外における車種専用ビジネスは始まったばかりですが、市場ごとに異なるニーズに対応していきながら、お客様に喜んで頂ける付加価値の高い製品開発に取り組んでまいります。



欧州で受賞した車種専用ナビ



拡張後のメキシコ工場

世界中の大手自動車メーカーが北米市場の新車販売拡大を目指し、メキシコでの工場新設・拡大が活発になっています。アルパインはすでにメキシコに工場展開していますが、今後の北米市場拡大に備え、7月に工場拡張工事を完了いたしました。

## 車載機器とスマートフォン連携による付加価値融合を図る



Apple CarPlay対応製品iLX-007

スマートフォンと車載機器との連携が新たな付加価値として期待されている中、Apple社、Google社それぞれが車載機器との取り組み内容を具体的に発表しています。

スマートフォンのアプリやサービスをより安心・安全かつ利便性高く車室内でご利用頂くためのサービスとして、Apple社はApple CarPlay、Google社はAndroid Autoを発表しています。いずれもスマートフォンと車載機器を接続し、機能融合を図るための仕組みです。

当社は、6月にはGoogle社Android推進団体のOAA (Open Automotive Alliance)への参加を表明、更に10月にはApple CarPlay対応製品の発売を米国にて開始いたしました。

今後とも、スマートフォンとの更なる機能融合による新たな付加価値創出に努め、より安心・安全なクルマ社会に貢献してまいります。

## 富士通テンと車載プラットフォーム共同開発を発表



富士通テン重松会長(左)とアルパイン宇佐美社長(右)

6月、車載機器メーカーの富士通テン株式会社と競争力強化を目的とした車載プラットフォーム共同開発を行うことを発表しました。

両社製品に共通する基本的なソフトウェア部分を中心に共同開発し、製品化は各社が独自に行います。

自動車の電子化にともない、我々カーエレクトロニクスメーカーが提供する車載機器は高度化が進み、お客様のニーズも多様化しています。同時にスマートフォンに代表されるコンシューマーエレクトロニクス製品と車載機器との機能融合へのニーズが高まり、車載機器が担う役割は拡大しています。これらの変化への対応と開発効率の向上を目指し、今回の共同開発へと至りました。



## 世界各国のショーに出展



アルパインブース

中長期的に新車市場の成長が期待されるアジアにおいて、3つのモーターショーへ出展し、当社の具体的取組み内容を紹介しました。

2014年3月24日から4月6日まで開催されたバンコク国際モーターショーには177万人の来場者がありました。ブースには3台のデモカーを展示し、車自体のシステムとの融合性、装着時の美しさや高級感をアピールしました。更には、来場者の投票によって選ばれるデザインの優れたブースとして「Best Design Award」アクセサリー部門を3年連続受賞しました。

4月20日から29日まで開催され85万人もの来場者を集めた

北京モーターショーでは、“Alpine Premium”をコンセプトにアルパインブランドと最新の製品・技術を訴求したブースを展開しました。中国市販市場初となる9インチ画面のナビゲーションシステムや、車室用イオン発生機を展示し、市場特性に配慮した、快適なカーライフをお客様にアピールしました。

9月18日から28日までインドネシアのジャカルタで開催されたインドネシア国際モーターショーには38万人もの人が訪れ、当社ブースにはミニバンをデモカーとして展示し、製品の魅力を体感頂き、アルパインが提案するカーライフをご理解頂きました。

### アルパイン夏祭り開催

8月1日、いわき本社において夏の恒例行事であるアルパイン夏祭りを開催しました。今年は開催直前まで雨が降っていたにも関わらず、従業員やその家族、地域の方々約7,000名の方にお越し頂きました。

毎年恒例のチャリティービンゴ大会や花火大会などの様々なプログラムに加え、環境にやさしいものづくりメーカーを目指すアルパインならではの企画として、お子様に環境保護とものづくりの楽しさについて学んでもらう「環境保護についてのお話会」と「ペーパークラフト昆虫づくり体験教室」を開催し、好評裏に終わりました。

アルパイン夏祭りは、従業員同士が絆を深めるためのイベントであると同時に、日ごろお世話になっている地域の皆様へ感謝を伝える貴重な機会でもあります。

これからも皆様との絆を大切に、社会への貢献のひとつとして地域活性化に努めてまいります。



夏祭りフィナーレの花火

### 女子プロゴルファー所属契約



大江プロ(右)と社員

今年度より、女子プロゴルファーの大江香織選手と所属契約を結びました。大江プロは山形県生まれ、宮城県の東北高校卒業と、東北と縁の深い選手ということから、一緒に東北を盛り上げていきたいという想いもあり契約に至りました。

大江プロには、当社のブランドプロモーターとしての活躍を期待しています。大江プロのキャップのつばにはアルパインのロゴが入っていますが、大江プロが更に活躍してくれることで、このロゴがより多くの人々の目に触れることになることを期待しています。

大江プロには今年のアルパイン夏祭りにご参加頂き、社員や地域の皆様と交流頂きました。当社の大江プロを応援する雰囲気や、いわきの住民の方々の温かさに触れることでパワーをもらったとのコメントを頂きました。

また、大江プロとの所属契約は、社員のモチベーション向上にもつながっています。

大江プロの活躍と、社員モチベーション向上の相互効果がこれからはますます期待されます。



## 新任取締役メッセージ (平成26年6月就任)



社外取締役 **長谷川 聡子**

### 略歴:

平成 6年 4月 弁護士登録  
森綜合法律事務所(現 森・濱田  
松本法律事務所)入所  
平成 9年 6月 Linklaters(ロンドン)出向  
平成19年 4月 末吉綜合法律事務所(現 潮見坂  
綜合法律事務所)開設(現任)

このたびアルパインの社外取締役に就任いたしました長谷川聡子と申します。

職業は弁護士です。これまで約20年間にわたり、企業法務を中心に、M&A案件や訴訟案件を手がけてまいりました。

私は、アルパインにとって初の社外取締役であり、初の女性取締役となります。当初お話を頂いた時は、私のような者に、そのような大役が務まるのか心配でした。しかし、先駆的な国際企業であるためには、強固なコーポレートガバナンス体制が必要であって、そのためには社外取締役の登用が必要であること、そして、より異なった目線で評価できる女性が求められていること等の説明をアルパインから受けた時、そのような考え方にひどく心を動かされ、ありがたうお話をお受けさせて頂くに至りました。株主総会において、株主の皆様のご承認を頂き就任できたことを大変嬉しく思っております。

社外取締役は、業務執行を担当する取締役が行う会社としての意思決定やそれに基づく業務執行が、会社の利益の観点から適正・妥当に行われているかどうかをモニタリングする責務を負っていると思います。アルパインのガバナンス体制の強化に少しでもお役にたつよう、自らの任務をしっかりと全うすべく精進してまいりますので、今後のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



取締役 中国担当 **池内 康博**

### 略歴:

平成16年 3月 当社入社  
平成18年10月 同 サウンドシステム製品開発部長  
平成23年10月 同 ペリフェラル製品開発部長  
平成24年 7月 同 理事 共通開発副担当  
平成25年 4月 同 理事 サウンド・メディア  
製品開発担当(現任)

取締役中国担当を拝命いたしました池内康博です。

ご存知のように中国市場は、一時期のGDP二桁成長時代は終了したものの今後も7%前後の安定成長が見込まれています。

2020年を待たずして、全世界の新車販売台数が1億台に達するといわれている中、中国では3,000万台を超える勢いで自動車市場の拡大が見込まれています。

中国事業拡大に向けて、第一に現地の日米欧自動車メーカー拠点向けビジネスの深耕と拡大、第二に市販製品におけるアルパインプレミアム創造、第三に中国自動車メーカー向けビジネスの更なる拡大、第四は、ビジネス拡大に向けた中国内オペレーションの全体強化、以上4つの重点施策で挑みます。

中国では、政治・経済・市場環境等で大変変化の激しい状況が続いておりますが、In China, For China, With Chinaを胸にアンテナを高くし、お客様・市場の動向を絶えず把握しつつプロアクティブ行動で新たな価値、新たな顧客の創造に努めてまいります。

今後ともグローバル・ワンチームで目標達成に向けてまい進していく所存ですので、ぜひ株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

	第49期第2四半期 2014年9月30日現在	第48期 2014年3月31日現在		第49期第2四半期 2014年9月30日現在	第48期 2014年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債・純資産の部</b>		
流動資産	132,581	128,628	流動負債	55,455	55,610
現金及び預金	47,784	46,698	支払手形及び買掛金	30,108	30,926
受取手形及び売掛金	39,828	41,029	その他	25,347	24,684
たな卸資産	31,591	29,031	固定負債	10,506	9,865
その他	13,376	11,868	繰延税金負債	6,130	5,836
固定資産	63,287	62,066	その他	4,376	4,029
有形固定資産	27,704	26,909	② 負債合計	65,962	65,475
無形固定資産	2,500	2,359	③ 株主資本	116,144	114,085
投資・その他の資産	33,083	32,797	その他の包括利益累計額	12,448	9,974
			新株予約権	16	-
			少数株主持分	1,298	1,158
			純資産合計	129,906	125,218
① 資産合計	195,869	190,694	負債・純資産合計	195,869	190,694

(単位:百万円)

## [ 連結財務諸表のポイント ]

## ① 資産合計

現金及び預金の増加10億円、たな卸資産の増加25億円、その他流動資産の増加13億円、有形固定資産の増加7億円等により、前連結会計年度末比51億円増加の1,958億円となりました。

## ② 負債合計

負債については、未払費用の増加4億円、製品保証引当金の増加5億円、退職給付に係る負債の増加3億円、支払手形及び買掛金の減少8億円等により、前連結会計年度末比4億円増加の659億円となりました。

## ③ 株主資本

自己資本比率は65.7%であり、引続き財務の健全性を維持しています。

## ④ 売上高

北米及び欧州自動車メーカー向け純正品及び国内市販の販売が好調に推移したことから増加し、前年同期比2.6%増の1,416億円となりました。

## ⑤ 営業利益

売上高の増加に加え、為替レートが予測よりも円安に推移したことから増加し、前年同期比19.8%増の45億円となりました。

## ⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は52億円(前年同期は120億円の増加)となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益58億円の計上、減価償却費30億円の計上、売上債権25億円の減少による資金の増加と、たな卸資産12億円の増加、仕入債務23億円の減少及び法人税等の支払20億円による資金の減少です。  
また、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは14億円の増加となりました。



### 連結損益計算書

	第49期第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日	第48期第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日
④ 売上高	141,630	137,981
売上原価	117,517	115,380
販売費・一般管理費	19,583	18,819
⑤ 営業利益	4,529	3,781
営業外収益	1,397	1,011
営業外費用	171	316
経常利益	5,754	4,476
特別利益	76	514
特別損失	22	93
税金等調整前当期純利益	5,808	4,897
税金(法人税等)	1,541	1,821
少数株主損益調整前当期純利益	4,266	3,076
少数株主利益	59	61
当期純利益	4,207	3,014

(単位:百万円)

### 連結包括利益計算書

	第49期第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日	第48期第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日
少数株主損益調整前当期純利益	4,266	3,076
その他の包括利益合計	2,548	4,562
包括利益	6,815	7,638

(単位:百万円)

### 連結キャッシュ・フロー計算書

	第49期第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日	第48期第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,289	12,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,864	△4,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,775	△719
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,437	1,481
現金及び現金同等物の増減額	1,086	7,827
現金及び現金同等物の期首残高	46,680	34,052
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	212
現金及び現金同等物の当期末残高	47,766	42,091

(単位:百万円)

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 会社の概要

## 会社概要 (2014年9月30日現在)

社名	アルパイン株式会社
英文社名	ALPINE ELECTRONICS,INC.
本社 / 東京事務所	〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494)1101 (大代表)
いわき本社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20番1号 TEL 0246(36)4111 (大代表)
設立	1967年5月
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	69,784,501株
資本金	259億2,059万円
グループ従業員数	11,499名(連結ベース35社合計)
国内関係会社	アルパインマーケティング株式会社 アルパインテクノ株式会社 アルパインマニュファクチャリング株式会社 アルパインプレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパインビジネスサービス株式会社 アルパインカスタマーズサービス株式会社 他4社
海外関係会社	アルパイン・アメリカ アルパイン・ヨーロッパ アルパイン・中国 アルパイン・アジア・パシフィック 他26社
ホームページアドレス	<a href="http://www.alpine.com/j/">http://www.alpine.com/j/</a>

## 役員の状況 (2014年9月30日現在)

氏名	当社における地位及び担当または主な職業	
宇佐美 徹	取締役社長	(代表取締役)
森岡 洋史	常務取締役	技術・開発統括
梶原 仁	常務取締役	生産・購買担当
甲斐 政志	常務取締役	管理担当
長谷川 聡子	社外取締役	弁護士
片岡 政隆	取締役	アルプス電気(株) 代表取締役会長
小林 俊則	取締役	欧州担当
遠藤 浩一	取締役	製品開発担当
水野 直樹	取締役	営業担当
田口 周二	取締役	OEM製品開発担当
池内 康博	取締役	中国担当
飛田 勝美	常勤監査役	
小島 秀雄	社外監査役	公認会計士
柳田 直樹	社外監査役	弁護士

※長谷川 聡子氏、小島 秀雄氏は、東京証券取引所の定めに基づく「独立役員」です。



## 株式の状況 (2014年9月30日現在)

大株主 株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %	持株数 千株	持株比率 %
アルプス電気株式会社	28,215	40.43	—	—
オーエム04エスエスピークライアントオムニバス	4,426	6.34	—	—
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	3,416	4.89	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,092	4.43	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,909	2.73	—	—
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,319	1.89	—	—
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	906	1.29	—	—
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	807	1.15	—	—
アルパイン社員持株会	712	1.02	—	—
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)アカウント ノントリーティ	604	0.86	—	—
本田技研工業株式会社	585	0.83	3,600	0.19
自社(自己株口)	578	0.82	—	—
CBHK-CFSIL COMMONWEALTH SPECIALIST FUND 4	548	0.78	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	544	0.77	—	—
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジエイビーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	524	0.75	—	—

## 株主メモ

決算期日 年回 3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 基準日 定時株主総会については、3月31日。  
 その他必要がある時は予め公告致します。

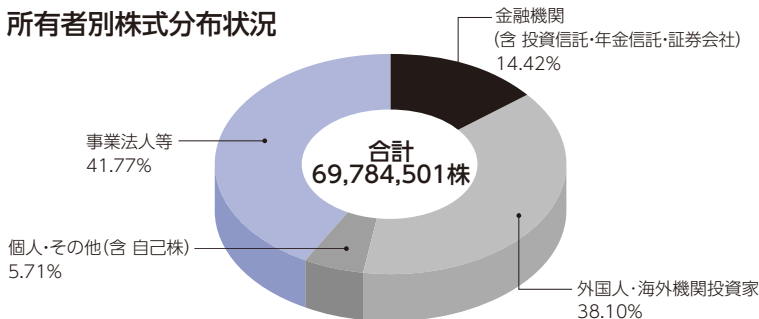
定時株主総会  
 公告掲載

6月下旬  
 電子公告により、当社ホームページ  
 (<http://www.alpine.com/j/investor/index.html>)に掲載致します。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。  
 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

上場証券取引所  
 証券コード  
 売買単位  
 株主名簿管理人  
 特別口座の口座管理機関

東京証券取引所市場第1部  
 6816  
 100株(1単元)  
 三菱UFJ信託銀行株式会社

## 所有者別株式分布状況



## 【株式に関するお手続き】

お手続き・ご照会の内容	お問合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵便物の発送と返戻</li> <li>○支払期間経過後の配当金</li> <li>○特別口座から一般口座への振替</li> </ul>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元未満株式の買取・買増請求※</li> <li>○住所変更・氏名変更 他</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。 ※但し、証券会社に口座を開設されていない株主様は、三菱UFJ信託銀行にお問合わせ下さい。

[www.alpine.com](http://www.alpine.com)



**UD**  
**FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しております。